

森林環境基金事業の評価と見直しについて（概評）

森林の未来を考える懇談会

1 経過

- ・森林環境基金事業は、導入から2年目を迎えている。
- ・現在実施されている事業の構築に当たって意見書を提出した。
- ・事業の実施に当たっては、筋目において県から報告を受け、意見を述べてきた。
- ・条例の趣旨を具現化する事業の執行が図られてきていると考える。

2 情勢の変化

- ・地球温暖化対策としての森林整備が強く求められてきたこと。
- ・森林・林業を取り巻く社会的条件が変化してきたこと。

3 見直し方向

事業の成果や課題を踏まえ、現在の事業内容を一層効率的・効果的なものとなるよう見直すとともに新たな視点を取り入れた事業の再構築を図ることが必要であると考え。については、以下の点に留意して事業を実施願いたい。

- ①新たな視点による事業仕組み
- ②継続的に実施できる仕組み
- ③県民に分かりやすいPR
- ④県事業と市町村事業の役割分担
- ⑤手法の改善
- ⑥継続
- ⑦統合
- ⑧終了